

R5年度 名寄市教育研究所

研究所教科班 ～学力・体力向上に向けて～

- ☆管理職が教科班それぞれに入り、協議や研修の際に助言する。特に児童生徒の資質・能力の向上に向けた指導について研究する。
- ☆各教科班は、各学校の全国学力学習状況調査の問題や結果分析のもと、児童生徒の資質・能力の向上に向け、指導方法等について検討・検証する。
- ☆保健体育班は体力・運動能力等調査の結果を分析し、体育の効果的な指導法について教職員実技研修会を開催する。
- ☆各学校にてスクールリーダーを中心にメンター研修を実施する。

R5年度 名寄市教育改善プロジェクト委員会の研究活動

全小・中学校が一体となった教育課題解決に向けた教育改善プロジェクト委員会の取組

分野	教 育 経 営	教 育 研 究 (研 修)	教 育 指 導
グループ名	教育経営の充実に関する研究グループ	教育研究(研修)の充実に関する研究グループ	教育指導の充実に関する研究グループ
令和5年度	【重 点】 新名寄版学校経営計画作成とCSの推進及び充実 ■学校経営計画に係る事業の推進 1 名寄市教育推進計画と直結した学校経営計画の作成 2 社会に開かれた教育課程の具体的取組	【重 点】 スクールリーダーの育成と働き方改革の推進 ■スクールリーダー研修会を活用した組織的・計画的な人材の育成 1 スクールリーダー等の育成を図る組織マネジメントや研修等の充実 2 日常教育実践の質の向上に資する戦略的な取組の充実 ■働き方改革の推進 1 学校規模に応じた働き方改革推進のコアチームを中核とした改善プロセスの推進 ※働き方改革の視点 (1) 教職員の意識改革 (2) 課題意識を踏まえた目標設定 (3) 効果の明確化と定期的な検証 (4) その他の実態を踏まえた特色ある取組	【重 点】 不登校対策とICTの効果的な活用 ■ICTを効果的に活用する方策 1 学習eポータルの効果的に活用する教育活動の充実 2 タブレット端末の家庭持ち帰りに係る諸課題の解決 ■ICTを活用した不登校対策 1 遠隔機材を用いた別室登校の支援 2 遠隔授業の機材活用支援

事務局の業務内容	各グループの研究の進め方
1 年間計画の作成（全体会議、推進会議の日程） 2 事務局だよりの発行（2回以上） 3 全体会議、推進会議（事務局、担当者、主任等の会議）の進行 4 各グループの会議、研修内容の確認 5 教育長への答申 6 研究内容の冊子やデータ等を各学校へ送付 7 次年度の研究内容の策定（ 教育委員会指導主事と連携 ） 8 学校力向上に関する総合実践事業などの連絡・調整（ 教育委員会指導主事と連携 ）	1 年間の活動計画や役割を決める。 2 会議や研修については主任が、担当校長に確認し、事務局へ連絡後、各学校へ案内する。 3 グループ会議終了後の顛末作成。顛末をベースにまとめの作成を行う。 3 上川教育局、上川教育研修センター、大学等から講師を招き、研究授業等を行う。 4 活動終了後、年度のまとめを行い成果と課題を明らかにする。 5 まとめた内容をデータ等で事務局へ提出する。 ※まとめのデータについては過度になりすぎないよう注意すること ※最終的には「研究方針」→「取組内容」→「成果」「課題」と（A4）1枚程度に収めるようにし、資料として取組概要のわかるものを準備すること 6 年度末の教育改善プロジェクト委員会で発表する。（プレゼン資料6～8枚程度） 7 活動内容をホームページに載せる→教育委員会指導主事

※令和5年度学校力にかかる総合実践事業との関連

・地域協議会の開催（市教委） ・小学校理科専科指導にかかる協議（市教委） ・事務職員業務内容にかかる協議及び研修の実施